



Monthly

さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2021年1月 Vol.32



雷鳥 (火打山)

発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 下村 登規夫 <https://saigata.hosp.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大潟区犀潟 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

明けましておめでとうございます。

さいがた医療センター 院長 下村 登規夫

お久しぶりです。さいがた医療センター院長の下村登規夫です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年から続いているコロナ禍はとどまるところを知らず、少ないと思っている上越にもどんどん迫ってくる様相を呈しています。COVIDとの共存とか、COVIDのその先へといわれていますが、何をしても広がりとはとどまるところを知らないということが、事実ではないでしょうか。ウィズ・コロナ (WITH CORONA) の時代といわれていますが、生活様式を新しくすることが最善の方法としか言えないでしょう。

ところで、このコロナ禍の中、私どもさいがた医療センター脳神経内科の神経難病患者さんは、コロナ感染症になると重症になってしまう可能性が高いのは事実です。そこで、さいがた医療センター脳神経内科では、上越・糸魚川地区の神経難病患者さんをお守りすべく、脳神経内科内に神経難病センターを設置することといたしました。これは、神経難病の患者さんを診断から病気のすべての段階で寄り添う医療を提供するのが目的です。神経難病医療の専門診療を行ってきたさいがた医療センター脳神経内科だからこそ提供できる医療であると自負しております。そして、当医療センターの理念である「現在提供できる最高の医療を提供する」ということを実践することにもなっています。実際には、ソフトウェアを提供することになります。ソフトウェアとは、神経難病患者さんの重症度を判定し、適切な治療選択を行っていくことになります。難病の重症度のみならず、合併症のみならず、併存疾患の評価から総合的に重症度を判定して、最も適切な住環境の選択から、治療薬の選択、リハビリテーションの選択まですべてをフィットさせるということです。さらに、多くの治験を行ってきた実績は製薬会社の信頼感もあり、患者さんへの薬の詳しい資料提供が可能になっています。ここから得られる薬物動態を詳しく分析して、一段階も二段階も上の治療を提供します。まさに、「現在提供できる最高の医療を提供する」とはこのことであり、当院で提供できるものだけではなく、世界的にも通用する治療を提供するということです。本格稼働は、4月を目指しますが、是非、ご理解いただき、神経難病センターの発展にご協力を賜りたいと願っております。これは、上越・糸魚川の医療機関の方々のみならず、多くの難病患者さんのご理解も必要です。皆様のお力が、神経難病の患者さんの明日を明るく照らしてくれるだろうことを信じてやみません。

さいがた医療センター脳神経内科の神経難病センターの活動から目が離せない、そうなることを願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さいがた医療センター アディクション研修会のご案内

日時・会場 2021年1月15日(金) 13:30～15:30

国立病院機構さいがた医療センター 管理棟2階講堂

講演テーマ 「ギャンブル依存症を理解する」

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

副院長 松下 幸生 先生



参加無料 どなたでも参加できます。どうぞふるってご参加ください。・研修詳細はQRコードからご確認いただけます。

「独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター」

さいがた医療センターで提供している医療

当センターでは各診療科の専門性を活かしつつ、全人的医療を提供しています。

精神科

- 新潟県依存症専門医療機関・治療拠点機関として、依存症全般(アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・インターネット等)の診療、および認知行動療法、ヨガ、スポーツ、筋トレ、アロマ、女性プログラムなど様々な治療プログラムを提供しています。
- 精神科急性期医療だけではなく、治療抵抗性統合失調症に対してクロザピンの治療を行っています。上越地域で唯一クロザピンの使用が認められている医療機関です。
- 電気けいれん療法(ECT)を行っています。
- 精神科デイケア・訪問看護ステーションで地域での暮らしを支援しています。
- クロザピンの治療状況…令和2年12月新規1例、累計50例(12月28日現在)

脳神経内科

- 主にパーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋委縮性側索硬化症の薬物調整・リハビリテーション目的の入院を受け入れています。
- スピラザ(ヌシネルセン)を用いた脊髄性筋委縮症治療を行っています。
- 難病デイケアは、身体機能の維持・向上だけではなく、仲間づくりも支援をしています。
- 神経難病医療…空床情報：1月5日現在 14床

重症心身障がい児(者)

- 一人ひとりのQOLの向上を考え、より豊かな生活となるよう環境づくりを行っています。
- 在宅の重症心身障がい児(者)のショートステイを受け入れています。
- ショートステイ…利用状況：12月延べ 32日

特殊外来

- 頭痛、慢性疲労、睡眠時無呼吸、セカンドオピニオン、脳ドック、ポトックス治療があります。

共同利用

- MRI(1.5T)、CT(80列)、RI、脳波・神経伝達装置、超音波検査をご利用いただけます。
12月実績 MRI 7件、CT 0件、SPECT 0件

さいがた医療センター 地域医療連携室からのお知らせ

地域の医療機関や関係機関の皆様との連携を一層深め、受診手続きの簡素化や双方向の診療情報の迅速な提供など、患者様の意向に沿ったより質の高い地域医療の展開を目指してまいります。

初診や入院、共同利用についてのご相談は、地域医療連携室にお気軽にお問合せください。



地域医療連携室HP

地域医療連携室 連絡先 TEL 025-534-6735 (直通)
FAX 025-534-6851
E-mail 226-saigata.chiiki@mail.hosp.go.jp
9:00 ~ 17:00 (土日・祝日を除く)



外来担当医表